まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします

施策 5 |公共交通が便利なまちにします | 担当部(統括部) | 土木下水道部 |

【実現している姿】

目標	市内すべての駅において移動が楽になり、安心して快適に利用できるようになっています。							
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)						
目標	市域全体の公共交通網が充実し、公共な	市域全体の公共交通網が充実し、公共交通機関の利用者が増えています。						
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)						

実現している姿を確認する指標											
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
鉄道駅におけるエレベーターの 設置率	目標	_	_	_	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	60.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%					
公共施設巡回バスの1 日平均乗 車数	目標	_	_	_	74.0人	バス路線網 の見直し 77.0人	80.0人	84.0人	88.0人	92.0人	110 人
	実績	60.7人	67.6人	70.9人	66.5人	62.2人					
市内循環バスの1 日平均乗車数	目標	_	_	_	45.0人	バス路線網 の見直し 47.5人	50.0人	52.5人	55.0人	57.5人	70 人
	実績	45.5人	45.0人	42.0人	41.5人	38.3人					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎JR千里丘駅の西口エレベーター設置						平成26年度事業費計 84,500千円		
	1 BB IT 144 BB 45 15 1 A EB #b 4					84,500十円		
設直美規に同じ	け、関係機関などとの調整を 	:凶りより。						
平成26年度事業	◇JR千里丘駅西口エレベータ・	一設置事業84,500千円(都	市計画課)					
					後期終了年度			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度		
計画	JR西日本、鉄道機構等関係 機関との協議・調整	JR西日本が事業主体 で、実施設計、支障移転 工事、続いてエレベー ター設置工事の実施	JR西日本が事業主体で、エレベーター設置エ事の実施	-	-			
取組実績	JR西日本、鉄道機構等関係機関と、エレベーター設置に向けての協議、調整を実施した。							
成果	JR西日本が事業主体となるエレベーター設置に向けて、実施設計の着手を実施することができた。							
次年度課題	実施設計の後、地元説明会を 実施するとともに、エレベー ター設置工事の早期着手および南北分断解消に向けて、JR 西日本等関係機関との継続的 な協議、調整が必要である。							
計画	支障物件移設工事の実施		エレベーター設置工事等 の実施、設置完了、供用 開始	-	_			
取組実績	JR西日本が国等関係機関と 協議を行い、実施設計の後、 すみやかに支障物件移転工事 ができるよう調整を実施した。							
成果	JR西日本が国等関係機関と 協議を行い、実施設計の後、 すみやかに支障物件移転工事 を実施することで調整できた。							
次年度課題	支障移転工事の後、エレベー ター本体工事に着手できるよう JR西日本等関係機関と協議、 調整が必要である。							

平成26年度事業費計 ◎バス路線網の再編・整備 24,010千円 阪急摂津市駅の新設や周辺道路状況の変化に伴い、地域や事業者と連携しながら、バス交通の路線網と機能分担を再編し、市域全体の交通網の向上を 図ります。 平成26年度事業 ◇公共交通整備事業234千円・☆市内循環バス運行補助事業10,800千円・◇公共施設巡回バス運行事業12,976千円(道路交通課) 第4期実施計画期間 後期終了年度 平成25年度 平成24年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成32年度 計画 既存公共交通網のPR 既存公共交通網のPR 既存公共交通網のPR 既存公共交通網のPR 既存公共交通網のPR 既存公共交通網のPR 自治会回覧による周知及び公 共施設へのチラシ配布、広報 誌掲載及びホームページの修 取組実績 正を行った。 市民周知に一定の効果があっ 成果 周知活動を継続的に実施して 次年度課題 いく必要がある。 市域全体の公共交通網 市域全体の公共交通網 公共交通バス路線に対する市 市域全体の公共交通網 市域全体の公共交通網 市域全体の公共交通網 民ニーズを反映させた市域全 の実証運行の実施と検 計画 の実証運行の実施と検 の評価及び検証 の評価及び見直し の評価及び見直し検証 体の公共交通網の再編成 アンケート調査結果による市 民ニーズを反映させるためバ 取組実績 ス事業者と協議調整を行った。 市内循環バスへの要望を反映 させるためJR千里丘を起終点 成果 としたルート変更を実施した。 -ト変更後の利用状況の検 次年度課題 証と利用者数の推移を分析す る必要がある。

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

【授净用0	り特色や魅力のある	<u> 取組みとし</u> (連	<u>ぬ) (いくこと)</u>				
な動による公共交通の充実						平成26年度事業費計	
	(A) 10.00 A 7.00 A						
	集者、市で組織する懇談会を ◇公共交通整備事業234千円・				-		
				第4期実施計画期間		後期終了年度	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度	
計画	懇談会により、地球ニー人を踏 まえた最適な交通網を検討を	域ニーズを踏まえた最適 な交通網を検討をすると	地元との協議により、地域ニーズを踏まえた最適な交通網を検討をするとともに、試行期間を定めて公共交通パス等の実証運行を実施		地域ニーズに合わせた 実証運行の評価及び検 証	地域ニーズに合わせた 実証運行の評価及び見 直し	
取組実績	市民ニーズを反映させるため 問題となる既存パス路線との 競合について各事業者との協 議調整を行った。						
成果	市内循環パスの運行ルートの 変更を実施するとともに公共 施設巡回パスの一部空白地域 の対応についての協議調整が 整った。						
次年度課題	市内循環パスルート変更後の 検証及び公共施設巡回パスの 新しい運行ルートの決定と実 証運行及び市民周知。						